

クイズ⑦

岩見沢で一番大きいダムは何というダムでしょうか？

次のクイズです。

岩見沢で一番大きいダムは何というダムでしょうか？

クイズ⑧

幌向ダムはどこにある？

- ① 栗沢毛陽町
- ② 大正池
- ③ 利根別川上流
- ④ 北村

幌向ダムはどこにあるでしょうか？

- ① 栗沢毛陽町
- ② 大正池
- ③ 利根別川上流
- ④ 北村

クイズ⑨

幌向ダムは三笠市の桂沢ダムより勝る所があります。

- ① ダムの高さ
- ② ダムの長さ
- ③ ダム湖の水量

幌向ダムは三笠市の桂沢ダムより勝る所があります。

桂沢ダムは皆さんご存じのように大きなダムですね。

いくらなんでも幌向ダムが太刀打ちできるダムだとは思いませんが、実は一つだけ優る所があります。それはどれでしょう。

- ① ダムの高さ
- ② ダムの長さ
- ③ ダム湖の水量

クイズ⑩

幌向ダムの材料は何で出来ている？

- ① コンクリートである
- ② 石である
- ③ 土である

それでは続けてクイズです。

幌向ダムの材料は何で出来ている？

- ① コンクリート
- ② 石
- ③ 土

クイズ⑪

幌向ダム湖の面積は札幌ドームの何個分？

- ① 約8個分
- ② 約10個分
- ③ 約12個分

次は湖に関するクイズです。

幌向ダム湖の面積は札幌ドームの何個分？

- ① 約8個分
- ② 約10個分
- ③ 約12個分

- 岩見沢市毛陽町474番地
- ロックフィルダム
- ダムの高さ44.4m
- ダムの長さ430m
- 貯水量1,500万m³



これが幌向ダム湖の写真です。皆さん行ってみたいと思いませんか？



その幌向ダムの前にある公園を紹介します。

幌向川ダム公園といって、緑の芝生や炊事場、水洗トイレ、ベンチなどがあり、市民の憩いの場として利用されています。



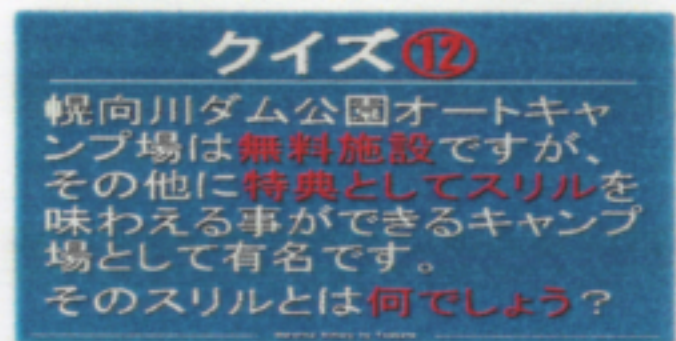
立派な施設が充実している公園です。



これは幌向川ダム公園のオートキャンプ場です。



このオートキャンプ場は無料で利用でき、予約も必要のない便利なキャンプ場となっています。



幌向川ダム公園オートキャンプ場は無料施設ですが、その他に特典としてスリルを味わえる事が出来るキャンプ場として有名です。そのスリルとはなんでしょう？



普段は大変素晴らしいキャンプ場ですが……



熊は怖いですね。皆さん注意しましょう。



それでは次のお話しです。幌向川は皆さんご存知だと思いますが、さらに詳しくお話しします。

クイズ⑬

幌向川の長さは何kmあるでしょう？

- ① 約20km
- ② 約40km
- ③ 約60km

ここで幌向川に関するクイズです。あと3問でクイズは終わりますので元気よく手を上げてください。

幌向川の長さは何kmあるでしょうか？

- ①約20km ②約40km ③約60km



幌向川上流のようす

昭和56年に皆さんの中で災害に遭われた方もいると思いますが幌向の水害の原因になった少し憎い川です。

私の家も新築して10ヶ月で、その水害に遭い散々でしたが、もう時効で忘れました。

幌向川上流のようすです。



上流は川床が岩盤になっていて水が澄んでいる

上流は水が澄んでいて綺麗な川ですね。



透明度がある綺麗な水面

上流は川床が岩盤になっていて水が澄んでいます。



魚釣りも楽しめる幌向川

透明度がある綺麗な水面です。

魚釣りも楽しめる幌向川です。

幌向川は昔、釣りの大会を開催していたと聞きます



秋には紅葉が美しい幌向川

秋には紅葉が美しい幌向川です。

ぜひ紅葉を楽しんでください。

クイズ⑭

世界の植物図鑑にホロムイと名のつく植物があります。

さて、何種類あるでしょうか？ 1種類～10種類の中で教えてください。

それではこれから幌向の植物についてお話します。

いきなり植物に関するクイズです。

世界の植物図鑑にホロムイと名の付く植物があります。さて何種類あるでしょう？ 1種類から10種類の中から教えてください。

なぜホロムイの名が？

昭和3年に北大植物園の館脇操園長が札幌から一番近い湿原として鉄道(全国で3番目に幌内～手宮が開通)がある幌向を選び、そこで7種類の新種の植物を発見してホロムイの名前をつけてくれた為、世界の植物図鑑にホロムイと名の付く植物が載っています。



幌向太駅

では、なぜ幌向の名が付いたのか、お話しします。

昭和3年に北大植物園の館脇操園長が札幌から一番近い湿原として鉄道の駅がある幌向を選び、そこで7種類の新種の植物を発見してホロムイの名前をつけてくれた為、世界の植物図鑑にホロムイと名の付く植物が載っています。

この写真は1882年、明治15年に初めて幌向に出来た幌向太駅です。官営幌内鉄道の幌向太フラグステーション(簡易停車場)として開業しております。

幌向太駅は現在のJR幌向駅から800m江別寄りで線路の北側に駅の玄関口がありました。その場所は多分カームピラホールの辺りだと思います。

この時、幌向にある鉄道は何と、全国で3番目に開通した幌内～手宮間の官営幌内鉄道でした。

最初のJR幌向駅



これは1987年、昭和62年4月に国鉄分割民営化になった時のJR幌向駅です。

現在のJR幌向駅



そして現在のJR幌向駅の写真です。

クイズ⑮

幌内～小樽手宮間の鉄道は全国で3番目に敷かれましたが、1番と2番は何処でしょう？

これが最後のクイズとなります。

幌内～小樽手宮間の鉄道は全国で3番目に敷かれましたが、1番と2番は何処でしょう？ ヒントは都会です。

北海道が全国で3番目という早さで鉄道が敷かれた理由は三笠に幌内炭田があったお蔭です。

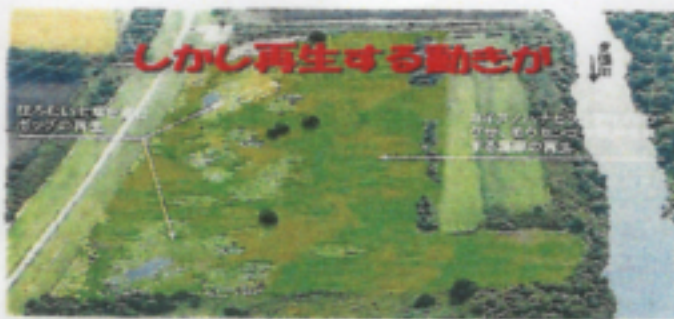
幌向七草が生息していた湿原は、蛇行していた川を直線的に改修したため湿原が乾燥してしまいホロムイと名の付く植物は幌向では枯渇し、七種類全て絶滅しました。

植物の話に戻ります。

幌向七草の生息する湿原は蛇行していた川を直線的に改修することで湿原が乾燥してしまいホロムイと名の付く植物は残念ながら枯渇し、幌向では七種類、ほとんどが絶滅してしまいました。



真っ直ぐに整備された幌向川の河口です。昔は104Km²もあった湿原が今は千分の1まで減りました。



しかし現在、開発局の計らいで夕張川の下流で湿地帯を造って幌向七草を他から集め移植して再生しようと言う活動が始まり、現在幌向地区から20Km圏内の9市町村の住民を対象に無作為で1500世帯を選び幌向七草についてアンケート調査が6日まで実施されました。

幌向七草の再生事業が始動



それでは、その幌向七草について説明します。まず一つ目の植物、これは何という植物でしょうか？



ホロムイイチゴの花です。



これは熟していないホロムイイチゴの実の部分です。これに似ている野苺はよく見かけますが、背丈が高いので違います。



野苺は赤くなると食べれますが、ホロムイイチゴはコハク色に熟してから食べれる植物です。

ホロムイイチゴ

ホロムイイチゴは10～25cmに成長する多年草。果実には5～25の核果が入っており、熟していない果実は赤く、秋になるとコハク色に熟します。

ホロムイ苺は10～25cmに成長する多年草。果実には5～25の核果が入っており熟していない果実は赤く、秋になるとコハク色に熟します。

ホロムイイチゴの分布

福島県と北海道、千島、サハリン、北朝鮮、北ヨーロッパに分布し、ヨーロッパでは果実を生食したり

ホロムイイチゴの分布は福島県と北海道、千島、サハリン、そして何かと話題の北朝鮮、北ヨーロッパに分布し、ヨーロッパでは果実を生

ジャムやジュース、リキュールに加工して食べてます。
フィンランドには**ホロムイチゴ**がデザインされた2ユーロ硬貨があります。

フィンランド
2ユーロ



ホロムイチゴ

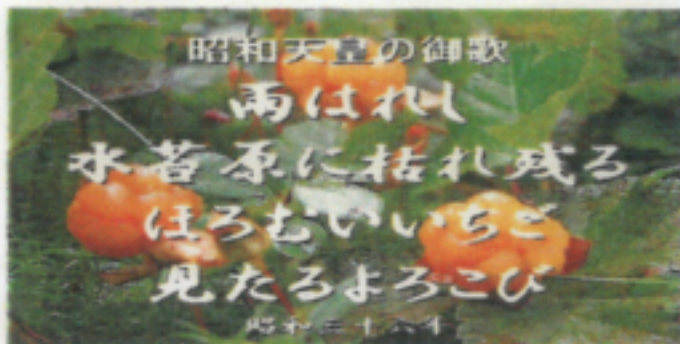
食したりジャムやジュース、リキュールに加工して食べています。
フィンランドにはホロムイチゴがデザインされた2ユーロ硬貨があります。

そのフィンランドの2ユーロ硬貨を見たいですか？
今回、特別に公開いたします。このコインです。
硬貨の裏面にホロムイチゴがデザインされています。
フィンランドへ旅行された方いらっしゃいますか？

ほろむいイチゴ 四季の里実行委員会

福島県会津若松市の赤井谷地湿原には「ほろむいイチゴ四季の里実行委員会」という組織があり、ホロムイチゴが保護されています。

またホロムイチゴには、こんな委員会もあります。
ほろむいイチゴ四季の里実行委員会という組織です。
福島県会津若松市の赤井谷地 湿原にはホロムイチゴが自生し
現在も保護されています。うれしいですね。



また驚くことに、昭和天皇が昭和36年にホロムイチゴについて御歌を歌っています。
雨はれし 水苔原に枯れ残る ほろむいイチゴ見たるよろこびと歌われています。梶向の住む私たちには、大変光栄な事でビックリですね。



それでは二つ目の植物、これは何という植物でしょうか？



ホロムイリンドウの花です。



花のアップ写真です。綺麗な花ですね。

ホロムイリンドウ

低地の湿原で生え、茎の高さは30～80cmに成長し長さ3～5cmの青紫色の可憐な花を数個つける植物で北海道と本州の尾瀬に分布していて蝦夷リンドウより小さく葉の幅が細い植物。

ホロムイリンドウは低地の湿原で生え、茎の高さは30～80cmに成長し長さ3～5cmの青紫色の可憐な花を数個つける植物で北海道と本州の尾瀬に分布していて蝦夷リンドウより小さく、葉の幅が細い植物です。

幌向竜胆よさこいチーム

以前幌向に「ぼろもいフェスタ」というお祭りがありました。そのお祭りを盛り上げるために幌向のよさこいチームを結成し幌向竜胆と命名しました。札幌の本祭ではテレビ放送で道内で一番貧乏な手作りチームとして紹介され話題になりました。

ホロムイリンドウにまつわる話ですが、

以前幌向にぼろもいフェスタというお祭りがありました。そのお祭りを盛り上げるために幌向のヨサコイチームを結成し幌向竜胆と命名しました。札幌の本祭ではテレビ放送で道内一貧乏な手作りのチームとして紹介され話題になりました。



ホロムイリンドウと蝶

幌向竜胆もヨサコイでも舞を披露しましたが蝶々も負けずにリンドウの周りを舞っている写真です。



ホロムイリンドウの花

ホロムイリンドウの話でした。



これは何という植物でしょうか？

さて次は三つ目の植物、これは何という植物でしょうか？



ホロムイツツジの花

ホロムイツツジの可愛い花です。

ホロムイツツジ

別名ヤチツツジとも呼ばれ湿原のミズゴケの中やその周辺に生える常緑の小低木で、樹高は1m程度しかなく春には白いスズランのような可憐な花を並べて咲かせるのが特長の植物です。

ホロムイツツジは別名ヤチツツジとも呼ばれ湿原のミズゴケの中やその周辺に生える常緑の小低木で、樹高は1m程度しかなく春には白いスズランのような可憐な花を並べて咲かせるのが特徴の植物です。



ホロムイツツジの茎

ホロムイツツジの茎の様子です。



ホロムイツツジの花

スズランに似た花を咲かせます。

ホロムイツツジの分布

生息地は北海道の中標津や釧路の鶴居村、稚内のサロベツ原生花園、道外では秋田県の湿地に分布する植物ですが、幌向では自生してませんが、**ある農家の畑で栽培されています。**

ホロムイツツジの生息地は北海道の中標津や釧路の鶴居村、稚内のサロベツ原生花園、道外では秋田県の湿地に分布する植物ですが、幌向では自生していませんが、ある幌向の農家の畑で栽培されています。



ホロムイツツジの花

ホロムイツツジの花です。



ホロムイツツジの花

青空に映えるホロムイツツジの説明でした。



これは何という植物でしょうか？

それでは、次の四つ目の植物、これは何という植物でしょうか？
皆さん、分かりますか？



ホロムイソウの花

ホロムイソウの花です。

ホロムイソウ

高さ10～40cmで茎には細長い20cmの葉が互生し、先端は丸く目立つ開口部があるのが特徴で黄緑色の花を咲かせる植物です。現在この植物も幌向には自生していません。



ホロムイソウ

ホロムイソウは高さ10～40cmで茎には細長い20cmの葉が互生し、先端は丸く目立つ開口部があるのが特徴で黄緑色の花を咲かせる植物です。現在この植物も幌向には自生していません。

ホロムイ草です。

ホロムイソウの分布

北半球の亜寒帯に広く分布し、淡水の湿地に生育する植物で日本では北海道・東北地方に分布し、京都市の深泥地にも隔離分布し世界的に京都が南限とされている植物です。

ホロムイソウは北半球の亜寒帯に広く分布し、淡水の湿地に生育する植物で、日本では北海道、東北地方に分布し京都市の深泥地にも隔離分布され世界的に京都が南限とされている植物です。



ホロムイソウ

ホロムイソウが少し枯れてきた状態です。



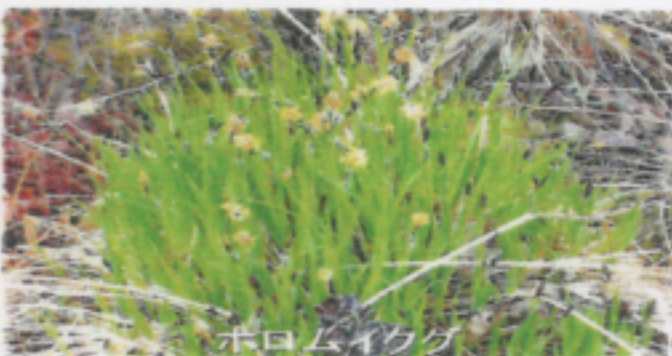
ホロムイソウ

ホロムイ草の説明でした。



これは何という植物でしょうか？

そして5つ目の植物これは何という植物でしょうか？



ホロムイクグ

ホロムイクグです。



星がちりばめられたような可愛い花が咲くメルヘンチックな植物です。

ホロムイクグ

寒冷地や湿原の浅い水域に生育し、高さ30～50cmの多年草で、根茎はまばらに生える植物です。残念ながらこの植物も現在、幌向には自生していません。

ホロムイクグは寒冷地や湿原の浅い水域に生育し、高さ30～50cmの多年草で根茎はまばらに生える植物です。残念ながらこの植物も現在、幌向では見られません。

ホロムイクグの分布

自生する所は、北海道と岩手県、千島南部から北アメリカ東部にかけて分布しています。

ホロムイクグの自生する所は北海道と岩手県、千島南部からアメリカ東部にかけて分布しています。



ホロムイクグの実の写真です。



ホロムイクグの実の写真です。



ホロムイクグの最後に、実の部分のアップ写真でした。



それでは六つ目の植物、これは何という植物でしょうか？



ホロムイコウガイ

ホロムイコウガイです。

ホロムイコウガイ

湿地の泥の中に生える高さ20～30cmに成長するイグサ科の植物で、細い葉をたくさん出し、8月に小さな花を咲かせる植物です。

ホロムイコウガイは湿地の泥の中に生える高さ20～30cmに成長するイグサ科の植物で細い葉をたくさん出し、8月に小さな花を咲かせる植物です。

ホロムイコウガイの分布

北海道の空知、石狩、渡島だけに分布する北海道固有種です。

ホロムイコウガイの分布は北海道の空知、石狩、渡島だけに分布する北海道固有種です。



ホロムイコウガイ

大変希少な植物です。

ホロムイコウガイの根元の部分です。



ホロムイコウガイ

一見、お米の稲のような植物に見えるホロムイコウガイの説明でした。



これは何という植物でしょうか？

これが最後7つ目の植物です。これは何という植物でしょうか？



ホロムイスゲ

ホロムイスゲです。



先ほどのホロムイコウガイに少し似ていますね。

ホロムイスゲ

寒地のミズゴケ湿地に生える多年草で茎や葉はやや硬く、高さ20～40cmに成長し、湿原植物としてはやや大きく育ち、初夏から穂を伸ばし晩夏に実が熟す植物です。

ホロムイスゲは寒地のミズゴケ湿地に生える多年草で茎や葉は硬く高さ20～40cmに成長し湿原植物としてはやや大きく育ち初夏から穂を伸ばし晩夏に実が熟す植物です。



ホロムイスゲが生育している状況の写真です。

ホロムイスゲの分布

北海道や寒冷な地方に生育し、国外ではオホーツク海沿岸域に広く分布する植物です。

ホロムイスゲの分布は北海道や寒冷な地方に生育し、国外ではオホーツク海沿岸域に広く分布する植物です。



ホロムイスゲの実の部分のアップ写真です。



同じくホロムイスゲの実の部分です。



同じくホロムイスゲの実の部分のアップです。



これで幌向七草と呼ばれる、ホロムイイチゴ・ホロムイリンドウ・ホロムイツツジ・ホロムイソウ・ホロムイクグ・ホロムイコウガイ・ホロムイスゲの7種類、幌向で発見された貴重な植物の紹介を終わります。



皆さん、今日の「幌向歴史物語」はどうでしたか？

幌向の事もっと好きになれたでしょうか？

皆さんが住んでいるホロムイと名の付く物が沢山ありましたね。

幌向運河や幌向岳そして、幌向川や幌向ダム等幌向七草を含め全部で21種類の幌向と名の付く物を今回ご紹介いたしました。

今回はクイズ形式でこの会を進めて来ましたが、今日のこのセミナーを聴いた皆様方は、今日から「幌向の物知り博士」となりましたので、今日の話を聴いていない方には是非「岩見沢で一番高い山は何という山か」とクイズを出してみてください。

以上を持ちまして幌向歴史物語を終了いたします。

皆さん、ご清聴、誠にありがとうございました。